

MHF[®] 7S SMA ADAPTER

Part No. Plug:91255-0001 Receptacle:91256-0001

Instruction Manual

Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by
1	S22514	December 2, 2022	Y. Imaji	K. Yufu	Y. Hashimoto
0	S22511	November 28, 2022	Y. Imaji	K. Yufu	Y. Hashimoto

1. 目的

弊社製 MHF 7S Connector の検査用アダプタである MHF 7S PLUG / RECEPTACLE SMA ADAPTER の取り扱いに際して、本検査用アダプタ及び MHF 7 を安全にご使用頂くことを目的とし、検査手順及び注意点の記述を致します。

また、MHF 7S の取り扱いにつきましては、コネクタの取扱説明書をご参照くださいますようお願い致します。

○検査用アダプタ

製品名称: MHF 7S PLUG SMA ADAPTER

型番: 91255-0001 (for MHF 7S PLUG)

製品名称: MHF 7S RECEPTACLE SMA ADAPTER

型番: 91256-0001 (for MHF 7S RECEPTACLE)

○コネクタ

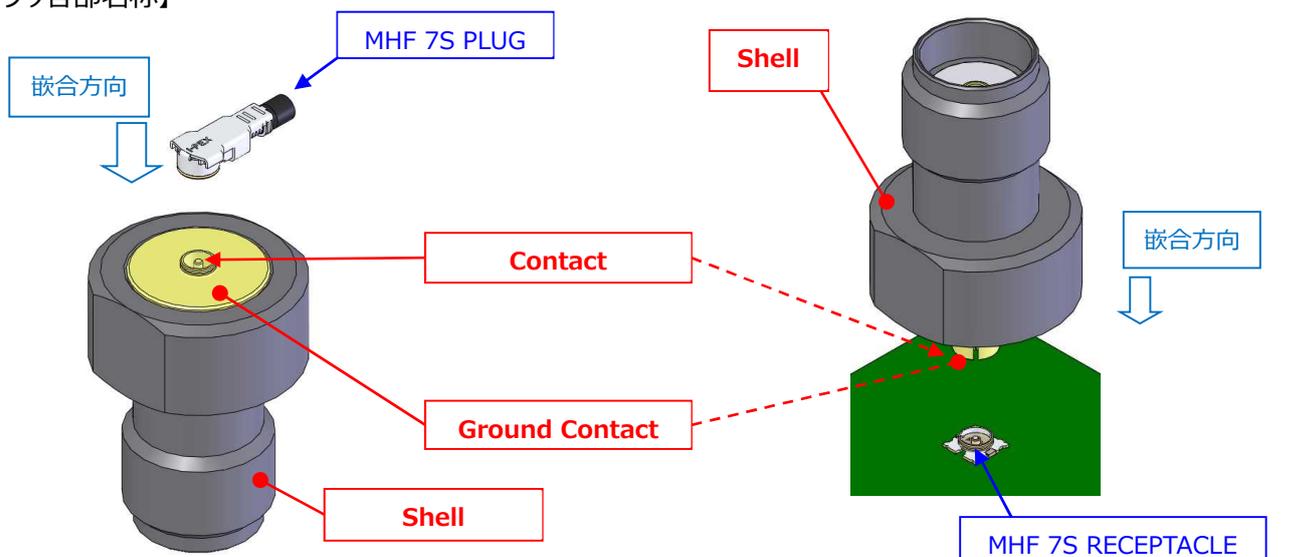
製品名称: MHF 7S PLUG

型番: 20980-001R-13

製品名称: MHF 7S RECEPTACLE

型番: 20981-001E-02

【SMA アダプタ各部名称】



[Inspection Adapter Part No. 91255-0001]

Fig. 1

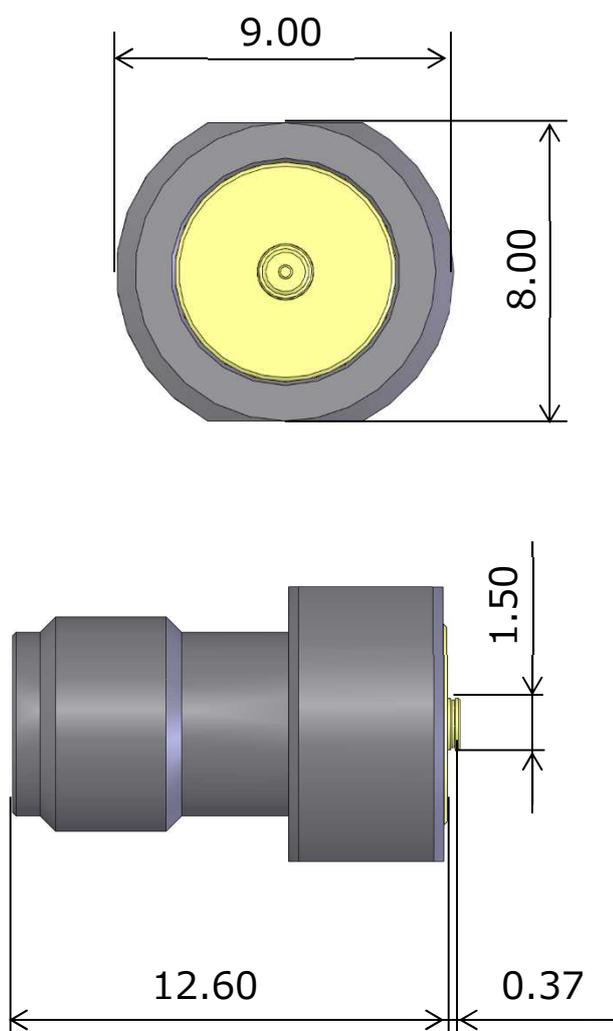
[Inspection Adapter Part No. 91256-0001]

2. 検査用アダプタ 寸法

MHF 7S Connector の周辺に部品を配置する際には、Fig. 2 の寸法を参考に、検査用アダプタと MHF 7S Connector との嵌合時に周辺部品が干渉しないようお願い致します。

【検査用アダプタの寸法 単位: mm】

MHF 7S PLUG SMA JACK ADAPTER Part No. 91255-0001



MHF 7S PLUG SMA ADAPTER Part No. 91256-0001

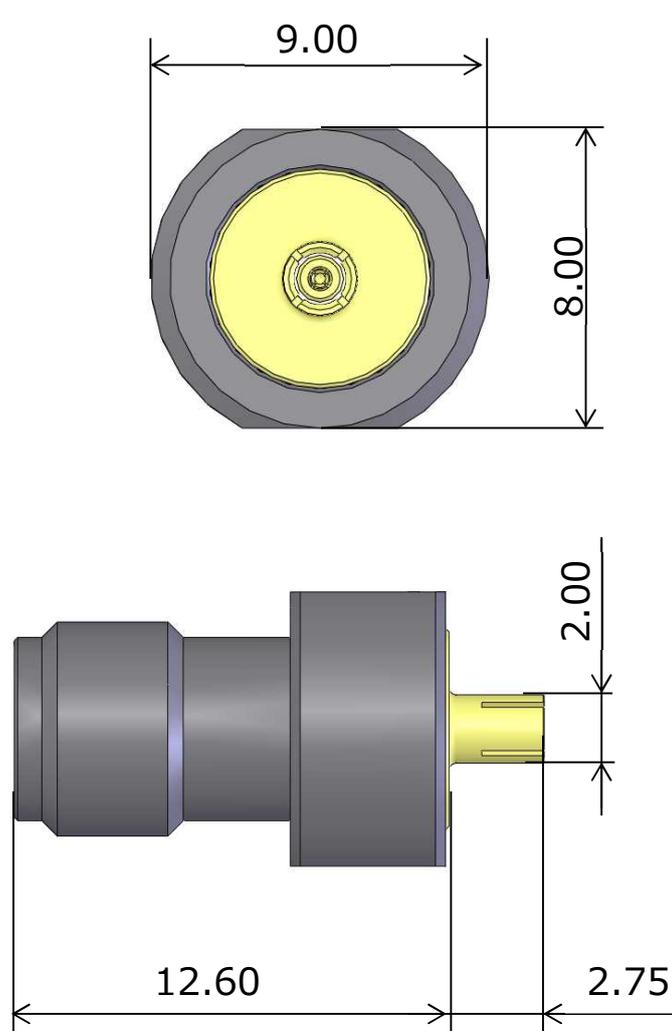


Fig. 2

注意事項

検査時に周辺部品が検査用アダプタに干渉すると、部品の破損や検査不良の原因となります。

3. 検査用アダプタとコネクタの嵌合 / 抜去について

3-1. PLUG

- ① 検査用アダプタの嵌合口部に PLUG をセットします。Fig. 3 のように PLUG を前後左右に軽く動かし、PLUG が動かないことを確認して下さい。
- ② Fig. 4 のように PLUG のセンターを真上から押し、カチッと音がすると嵌合完了となります。
- ③ 抜去する際は、Fig. 5 のように PLUG を垂直に引き上げて下さい。(抜去 JIG 使用推奨 Part No. 91186-0001)

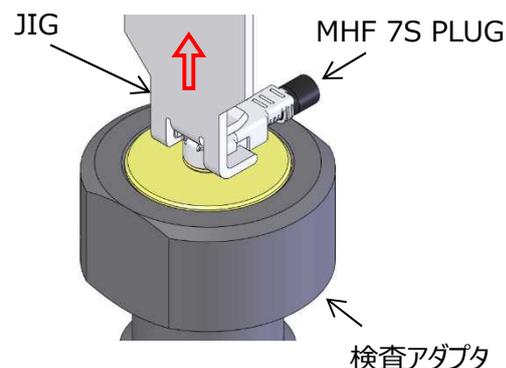
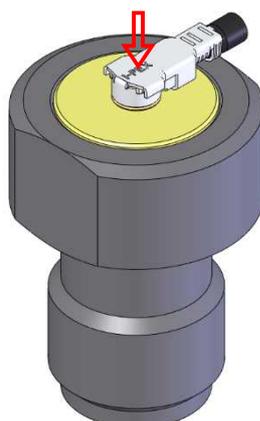


Fig. 3 ① PLUG をセット

Fig. 4 ② PLUG を垂直に押す

Fig. 5 ③ PLUG を垂直に引き上げる

注意事項

- ・必ず検査アダプタの上から PLUG を嵌合してください。決して PLUG の上から検査アダプタを嵌合しないでください。

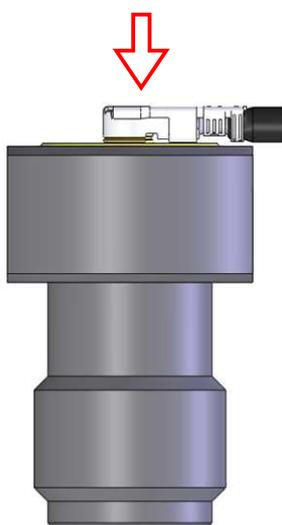


Fig. 6 正しい嵌合方向

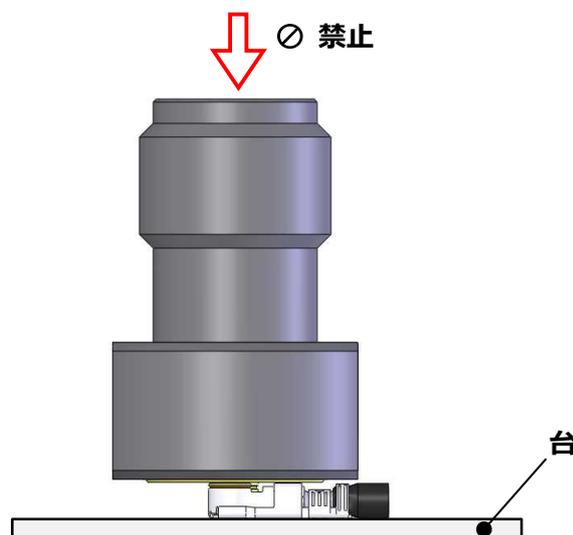


Fig. 7 誤った嵌合方向

- ・嵌合時は、検査アダプタに対し垂直に PLUG を押ししてください。斜めや位置がずれた状態で挿入荷重をかけると、検査アダプタおよび PLUG が破損する原因となります。
- ・抜去する際は PLUG を持って垂直に引き上げて下さい。ケーブルを持って抜去すると検査アダプタおよび PLUG が破損する原因となります。

3-2. RECEPTACLE

- ① RECEPTACLE が実装された基板を台に置き、検査アダプタをセットします。Fig. 8 のように検査アダプタを前後左右に軽く動かし、検査アダプタが動かないことを確認してください。
- ② Fig. 9 のように検査アダプタを垂直に押してください。
- ③ 抜去する際は、基板を抑え、Fig. 10 のように検査アダプタを垂直に引き上げて下さい。

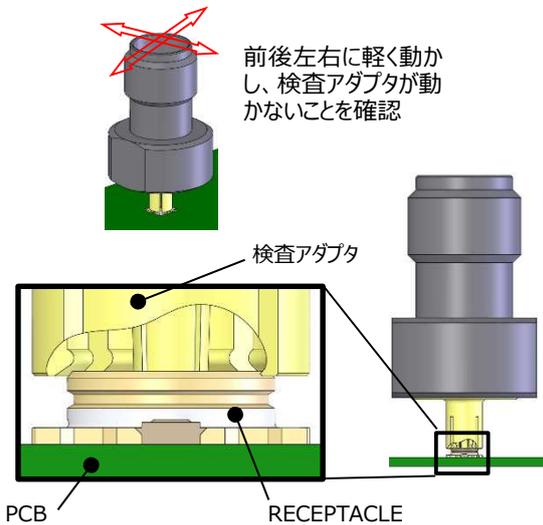


Fig. 8 ① 検査アダプタをセット

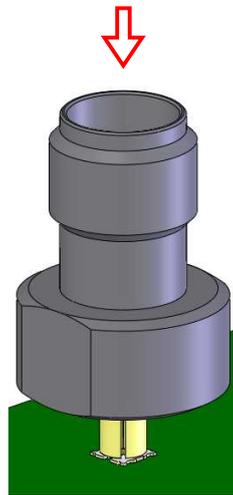


Fig. 9 ② 検査アダプタを垂直に押す

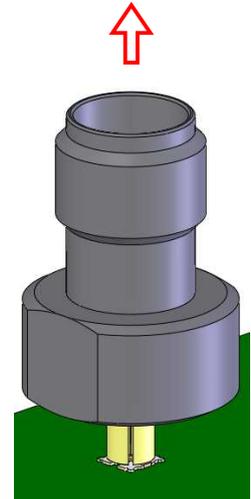


Fig. 10 ③ 検査アダプタを垂直に引き上げる

注意事項

- ・嵌合時は、基板に対し垂直に検査アダプタを押してください。斜めや位置がずれた状態で挿入荷重をかけると、検査アダプタおよび RECEPTACLE が破損する原因となります。
- ・測定機器と検査アダプタを接続するケーブルの反力で、検査アダプタに斜め方向の力が加わると検査アダプタおよび RECEPTACLE が破損する原因になります。測定機器と接続後に検査アダプタが傾かないよう支えてください。(Fig. 11 参照)

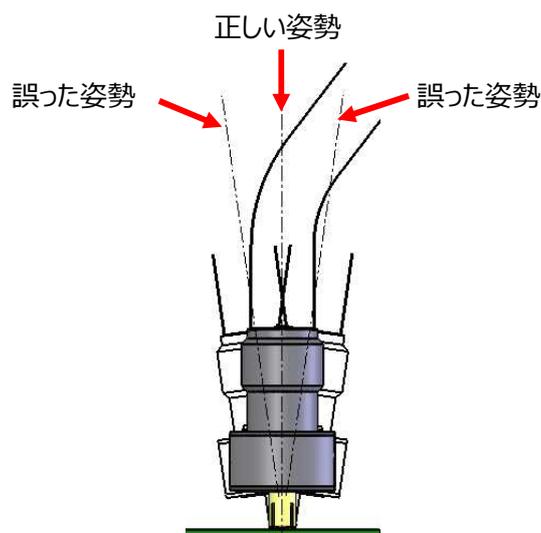


Fig. 11 測定時の姿勢

- ・抜去する際は検査アダプタを垂直に引き上げて下さい。斜め方向に力を加えると検査アダプタおよび RECEPTACLE が破損する原因になります。

【検査用アダプタ取り付け順】

[91255-0001 / 91256-0001]

Fig. 12 のように、固定レンチを用いて SMA-J を固定し、適正トルク 0.59～0.98 N・m のトルクレンチで SMA-P を回して締めてください。

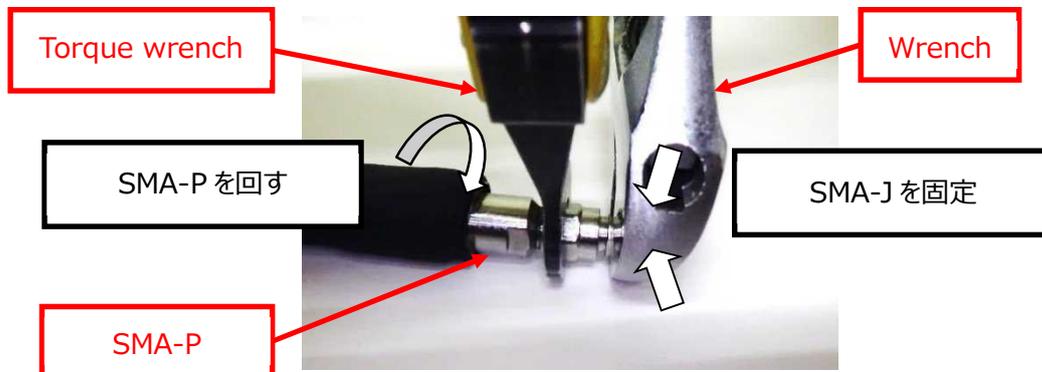


Fig. 12

注意事項

・必ず SMA-P 側のみを回すようお願いします。

また、SMA-P を固定する際は適正トルク 0.59～0.98 N・m のトルクレンチを使用するようお願いします。

固定に必要以上のトルクがかかると SMA コネクタの破損の原因となります。